

## 園芸生産 拡大への道



JA自己改革

## シャインマスカット 生産者募集



園芸指導専門員  
遠田 直樹 係長

平成31年度は当JAがシャインマスカットの産地育成に取り組み3年目となります。

31年1月現在、「園芸生産拡大支援事業」でシャインマスカットの栽培に取り組んでいる生産者は56人、栽培されているシャインマスカットは633本になります。

栽培技術の指導は県酒田農業技術普及課の普及員を講師に迎え、新梢管理、果穂整形、摘粒作業など、管理作業前に講習会を開き、栽培技術を研修し生産にあたっています。

昨年は、シャインマスカット研究会が発足し、産地形成のきっかけとして他県へ視察研修に行きました。

31年度からはいよいよ出荷が始まります。良品・良質なシャインマスカットが収穫できるように、手間を惜しまず、丁寧な作業を心がけていきます。

当JAでは「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を目指し、「園芸生産拡大支援事業」に取り組んでいます。シャインマスカットは水稻育苗ハウスを利用して栽培することができ、この機会に水稻と園芸の複合経営を検討してみたいかがでしょうか。今月の広報誌に32年度苗木の申込案内を折り込んで

でいます。私たちと一緒にシャインマスカットの栽培にチャレンジしてみませんか。  
お問い合わせは最寄りの園芸センターか園芸課までご連絡ください。



▲水稻育苗ハウスを活用し栽培しています

# 変わるJA 広がる地域のぎずな

監修=広島大学  
助教 小林元

## Q. JAの自己改革で組合員は何をすればいいの？

### A. JAの運営参画の場や組合員アンケートを活用し、皆さんの声を届けましょう。

協同組合は組合員が出資し、運営に参画し、事業を利用する組織であり、JAの自己改革の主人公は組合員です。組合員のニーズが多様化しているなかで、改革を達成するには、どうすればJAがより良くなるかを考え、組合員の声をJAに届ける必要があります。JAでは組合員組織や支店協同活動、支店運営委員会など組合員の参画の「場」をつくり、組合員の意思反映・運営参画を進めています。農家組合員ならば青年部や生産部会、総代、女性であれば女性部、フレッシュミズなどの活動があります。

また、JAグループは、全国で全ての正准組合員を対象にアンケート調査を行っています。組合員によるJAの自己改革の評価を「見える化」することが目的です。組合員の皆さんをJA職員が訪問したら、わがJAの改革はどこまで進んでいるのか、わがJAの今後の運営はどうあるべきか、皆さんの声を届けましょう。

## 「アクティブ・メンバー」の拡大=メンバーシップ強化

### 運営参画

理事、組合員組織代表、支店運営委員等としてJA運営に参画

### 意思反映

組合員組織、座談会等を通じてJA運営に意志反映



### 事業の複合利用

### 活動の複数・2段階参加

組合員組織活動、支店等の活動に複数・2段階参加  
複合事業利用・事業量の拡大



耕そう、大地と地域の未来。